

# プロジェクトを成功に導く最新のマネジメント講座

## －価値創造型人材育成のためのP2M－

プロジェクトマネジメント（PM）は、特定のテーマについて期限を区切って着実に成果を出す知識体系であらゆる産業のあらゆるプロジェクトに対応可能です。従来日本にはこのPMの資格認定の仕組みがありませんでしたが、経済産業省の協力により日本発のPM、プロジェクト&プログラムマネジメント実践知識体系がP2Mガイドブックとして完成し、平成14年度からこのP2Mに基づく資格認定制度がスタートしました。既に知識レベルの資格認定が行われ1330名のプロジェクトマネジメント・スペシャリストが誕生し各企業や業界のPMとして活躍しています。

P2Mは、現在の日本企業に求められている「環境変化に対応し、複雑化する課題に解決の道を開き、企業価値・個人価値向上を実現する」第3世代のプロジェクトマネジメント知識体系として国内外から大きく注目されています。海外でもP2Mは高く評価されつつあり、フランスリール大学院で特別講座、ロンドン大学でP2Mセミナー、タイ・バンコクではP2M研修会などが開催されています。

このP2Mを広く社会に普及させるため、早稲田大学において「プログラム・プロジェクトマネジメントのオープン講座」を、早稲田大学アジア太平洋研究センター、とPMCCの共催で開催いたします。

講師陣には内外で広く活躍し、プロジェクトマネジメント分野において日本のみならず世界のリーダーとして活躍されている方々で構成された多彩な陣容となっています。

- 講座名** プロジェクトを成功に導く最新のマネジメント  
－価値創造型人材育成のためのP2M－
- 主催** 早稲田大学 アジア太平洋研究センター  
特定非営利活動法人 プロジェクトマネジメント資格認定センター
- 日時** 2005年3月5日（土）、12日（土）、19日（土）  
10：00～17：20
- 場所** 早稲田大学アジア太平洋研究センター 7階710号室 新宿区西早稲田1-21-1  
及び特定非営利活動法人プロジェクトマネジメント資格認定センター研修室  
港区新橋2丁目6番1号さくら新橋ビル8階
- 受講料** 50,000円／人（PMCC個人会員、団体会員に所属する方及びP2Mクラブ会員の方には10%割引が適用されます。又、学生の方には特別割引制度がありますので事務局までお問い合わせ下さい。）  
※CPU対象講座です。1講座4CPUを付与します。
- 振込先口座名  
特定非営利活動法人プロジェクトマネジメント資格認定センター  
東京三菱銀行 本店 普通口座 7655248
- 定員** 30名（定員になり次第締め切ります）

### 申込方法

**問合せ先** 特定非営利活動法人 プロジェクトマネジメント資格認定センター 事務局  
E-mail : admi@pmcc.or.jp

**申込方法** 添付の受講申込書の太線内に必要事項を記入し、振込金受取書を添付して、FAXでお申し込み下さい。  
当方にて受付完了したことをE-mailにてご連絡いたします。

**受付期間** 2005年1月17（月）から2月25日（金）まで



特定非営利活動法人 プロジェクトマネジメント資格認定センター  
Project Management Professionals Certification Center (略称: PMCC)

〒105-0003 東京都港区新橋2丁目6番1号さくら新橋ビル8階

TEL : 03-3539-3022 FAX : 03-3539-1741

ホームページ : <http://www.pmcc.or.jp/>

# プロジェクトを成功に導く最新のマネジメント講座

3月5日（土） P2Mの意義（教室：アジア太平洋センター 7階 701号室）

| 講座NO.               | テーマ  | 講師名                       |
|---------------------|--|---------------------------|
| 開講挨拶10:00           |  | 木下教授                      |
| 第1講座<br>10:05~12:00 | 「価値創造を目指したP2M」<br>伝統的プロジェクトマネジメントと何が違い<br>プロジェクト成功のポイントは何か | 小原重信<br>シドニー工科大学<br>客員教授  |
| 昼休み<br>12:00~13:10  |  |                           |
| 第2講座<br>13:10~15:10 | 「アジアの発展と日本のプロジェクトリーダーシップ」                                  | 木下俊彦<br>早稲田大学<br>国際教養学部教授 |
| 第3講座<br>15:20~17:20 | 「我が国経済産業政策の課題とPMへの期待」                                      | 北島課長補佐<br>経済産業省国際プラント推進室  |

3月12日（土） P2Mの深耕研究（教室：新橋PMCC研修室）

| 講座NO.               | テーマ                                      | 講師名                              |
|---------------------|--|----------------------------------|
| 第4講座<br>10:00~12:00 | 「グローバル時代のモノづくり企業のイノベーション」                | 松田修一<br>早稲田大学<br>アジア太平洋研究科教授     |
| 昼休み<br>12:00~13:10  |  |                                  |
| 第5講座<br>13:10~15:10 | 「PFI事業とプロジェクトファイナンス<br>地域活性化の事例適用研究」     | 美原 融<br>(株)三井物産戦略研究所<br>PE室長     |
| 第6講座<br>15:20~17:20 | 「プログラムマネジメントと開発リアルオプション<br>製品開発への事例適用研究」 | 武富為嗣<br>コーポレート・インテリジェンス<br>(株)代表 |

3月19日（土） P2M適用の事例研究（教室：新橋PMCC研修室）

| 講座NO.               | テーマ                                | 講師名   |
|---------------------|------------------------------------|---|
| 第7講座<br>10:00~12:00 | 「サービス事業とデジタルメカニクスの融合」              | 竹林 一<br>オムロン(株)<br>セキュリティソリューション<br>事業推進室エンジニアリング部長 |
| 昼休み<br>12:00~13:10  |                                    |   |
| 第8講座<br>13:10~15:10 | 「プログラムマネジメントとバランススコアカード」           | 鈴木研一<br>明治大学<br>経営学部教授                              |
| 第9講座<br>15:20~17:20 | 「プロジェクト成功の決め手<br>プログラムマネジメントと実証事例」 | 渡辺 貢成<br>(有)経営組織研究所代表                               |

※ 講座内容の変更も有りますのでご了承下さい

## 早稲田大学 P 2 M オープン講座講師紹介

### 第 1 講座 小原重信

シドニー工科大学大学院プロジェクトマネジメント専攻 客員教授  
日本工業大学機械工学科教授  
慶応義塾大学経済学部卒業。川崎重工業勤務、名古屋商科大学教授、千葉工業大学教授を経て現職。  
主な著作：「P 2 M プロジェクト & プログラムマネジメント標準ガイドブック(上・下)」(PHP、2003 年、編者)「P 2 M 入門」(H & 社、2002 年)など。

### 第 2 講座 木下俊彦

早稲田大学国際教養学部教授  
国際協力銀行(前日本輸出入銀行)入行。A.T.カーニーアジア担当特別顧問、早稲田大学商学部大学院商学研究科教授を経て現職。  
主な研究テーマ：国際経済学、アジア経済、多国籍企業、P F I、プロジェクトマネジメント、国際エネルギー問題。主な著作：「アジア経済：リスクへの挑戦」(劉草書房)等。

### 第 3 講座 北島宏樹

経済産業省国際プラント推進室課長補佐

### 第 4 講座 松田修一

早稲田大学経営大学院教授  
早稲田大学商学部卒業、大学院商学研究科博士課程終了。監査法人サンワ事務所(現トーマツ)入所後、早稲田大学アジア太平洋研究センター教授を経て現職。  
主な著書：「経営監査の理論と実際」(中央経済者)「企業論」日本経済新聞社、「会社の仕組み」日本実業出版社、「M O T 入門」日本能率協会など。

### 第 5 講座 美原 融

(株)三井物産戦略研究所 プロジェクト・エンジニアリング室長  
一橋大学卒業、三井物産(株)入社後平成 11 年より現職。内閣府・民間資金等活用事業推進委員会専門委員。内閣府・規制改革民間開放推進会議専門委員。主な著書：「P F I 実務のエッセンス」(有斐閣共著)「商社 2006 年版産学社など

### 第 6 講座 武富為嗣

コーポレートインテリジェンス(株)代表  
東京工業大学大学院理工学研究科終了、大手エンジニアリング会社、コンサルティング会社を経て現職。  
主な著書：「産業ビッグバン」(丸善、2002 年共著)  
「Winning In Asia : Japanese Style」(Palgrave Macmillan, 2002, conntributory)など。

### 第 7 講座 竹林 一

オムロン(株)セキュリティソリューション事業推進室エンジニアリング部長  
立石電機(現オムロン)株式会社入社後店舗売上管理システム開発、事業企画室にて A T M 後方支援システム等の新規事業化などに従事し勤務システム開発部にてパスネット等大型システム開発のプロジェクトリーダー、新規事業開発部長、グーパス推進部長を歴任し現職。  
主な著書：「モバイルマーケティング進化論」(共著日経 BP 企画)

### 第 8 講座 鈴木研一

明治大学経営学部教授  
大阪大学大学院経済学研究科博士課程終了、経済学博士、長銀総合研究所、広島国際大学助教授を経て現職。  
2000 年日本原価計算研究学会、2000 年 IMA(米国管理会計協会)論文賞受賞。  
主な著書：「プロジェクト・バランス・スコアカード」(生産性出版編著)「管理会計・入門」(有斐閣共著)。

### 第 9 講座 渡辺貢成

(有)経営組織研究所代表  
早稲田大学理工学部応用科学卒、日鉄化工機株式会社、日揮株式会社にて石油精製プラント、原子力プラントマネージャー、有人宇宙システム(株)にて国際宇宙ステーション担当後、日本プロジェクトマネジメントフォーラム事務局長を経て現職。芝安曇のペンネームでプロマネ自在氏の経験則など雑誌連載。

# 早稲田大学オープン講座 2005・3 受講申込書

|  |  |  |       |
|--|--|--|-------|
|  |  | *受付欄                                   | *再受付欄 |
| *受講番号<br><small>(この欄は記入しないで下さい。)</small> | *備考<br><small>(この欄は記入しないで下さい。)</small> | 性別( <input type="checkbox"/> で囲んで下さい。) |       |
|  |  | 男                                      | 女     |
| フリガナ                                     |  | 生年月日(西暦)                               |       |
| 氏名                                       |  | 年                                      | 月 日   |
| フリガナ                                     |  | 電話番号                                   |       |
| 現住所                                      | 〒                                      |  |       |
| フリガナ                                     |  |  |       |
| 勤務先<br>(学校名)                             | 所属部・課・係(又は、専攻科、学年)も記入願います。             |  |       |
| フリガナ                                     |  | 電話番号                                   |       |
| 勤務先住所<br>(学校住所)                          | 〒                                      |  |       |
| E-Mail                                   | 勤務先 自宅(どちらかに を付けて下さい。)                 | FAX番号                                  |       |
|  |  |  |       |

## 記入上の注意

1. 必ず申込者本人が記入して下さい。
2. \*印のある欄は、記入しないで下さい。太線内は全て記入下さい。
3. 日本国籍を有しない方は外国人登録証明書に記載されているとおり書いて下さい。〔外国籍の方で郵便の宛先等に通称名を希望する場合は、**受講申込書**に通称名をカッコ書きで併記して下さい。〕

**振込金受取書(兼手数料受取書)を貼付して下さい。(コピーでも可。)**